

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 10 月 30 日 (2014.10.30)

【公開番号】特開 2013-68439 (P2013-68439A)
 【公開日】平成 25 年 4 月 18 日 (2013.4.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-018
 【出願番号】特願 2011-205483 (P2011-205483)
 【国際特許分類】

G 0 1 B 5/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 B 5/20 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 9 月 10 日 (2014.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡フレームの左右のリムを保持する第 1 スライダー及び第 2 スライダーを有する眼鏡フレーム保持手段と、型板又はデモレンズの測定対象物に取り付けられる型板ホルダーと、型板ホルダーに取り付けられた測定対象物の動径情報を得る型板測定手段と、を備える眼鏡枠形状測定装置であって、

前記型板ホルダーの非使用時に前記型板ホルダーを収納するための収納部を前記第 1 スライダー又は第 2 スライダーに設けたことを特徴とする眼鏡枠形状測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼鏡枠形状測定装置において、前記第 1 スライダー及び前記第 2 スライダーは、左リムをクランプするためのクランプピンを持つ左リムクランプ機構と、右リムをクランプするためのクランプピンを持つ右リムクランプ機構と、をそれぞれ有し、前記収納部は、前記左リムクランプ機構と前記右リムクランプ機構との間に設けられていることを特徴とする眼鏡枠形状測定装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の眼鏡枠形状測定装置において、前記型板ホルダーは、前記収納部の左右方向の寸法、縦方向の寸法及び垂直方向の高さ寸法に入るように定められた横寸法、縦寸法及び高さ寸法を持つことを特徴とする眼鏡枠形状測定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 眼鏡フレームの左右のリムを保持する第 1 スライダー及び第 2 スライダーを有する眼鏡フレーム保持手段と、型板又はデモレンズの測定対象物に取り付けられる型板ホルダーと、型板ホルダーに取り付けられた測定対象物の動径情報を得る型板測定手段と、を備える眼鏡枠形状測定装置であって、前記型板ホルダーの非使用時に前記型板ホルダーを収納するための収納部を前記第 1 スライダー又は第 2 スライダーに設けたことを特徴とす

る。

(2) (1)の眼鏡枠形状測定装置において、前記第1スライダ及び前記第2スライダは、左リムをクランプするためのクランプピンを持つ左リムクランプ機構と、右リムをクランプするためのクランプピンを持つ右リムクランプ機構と、をそれぞれ有し、前記収納部は、前記左リムクランプ機構と前記右リムクランプ機構との間に設けられていることを特徴とする。

(3) (2)の眼鏡枠形状測定装置において、前記型板ホルダーは、前記収納部の左右方向の寸法、縦方向の寸法及び垂直方向の高さ寸法に入るように定められた横寸法、縦寸法及び高さ寸法を持つことを特徴とする。